

第4章 施設管理の目標設定

リスク評価を踏まえて、下水道施設の点検・調査及び修繕・改築に関する事業の効果目標（アウトカム）及び事業量の目標（アウトプット）を設定する。

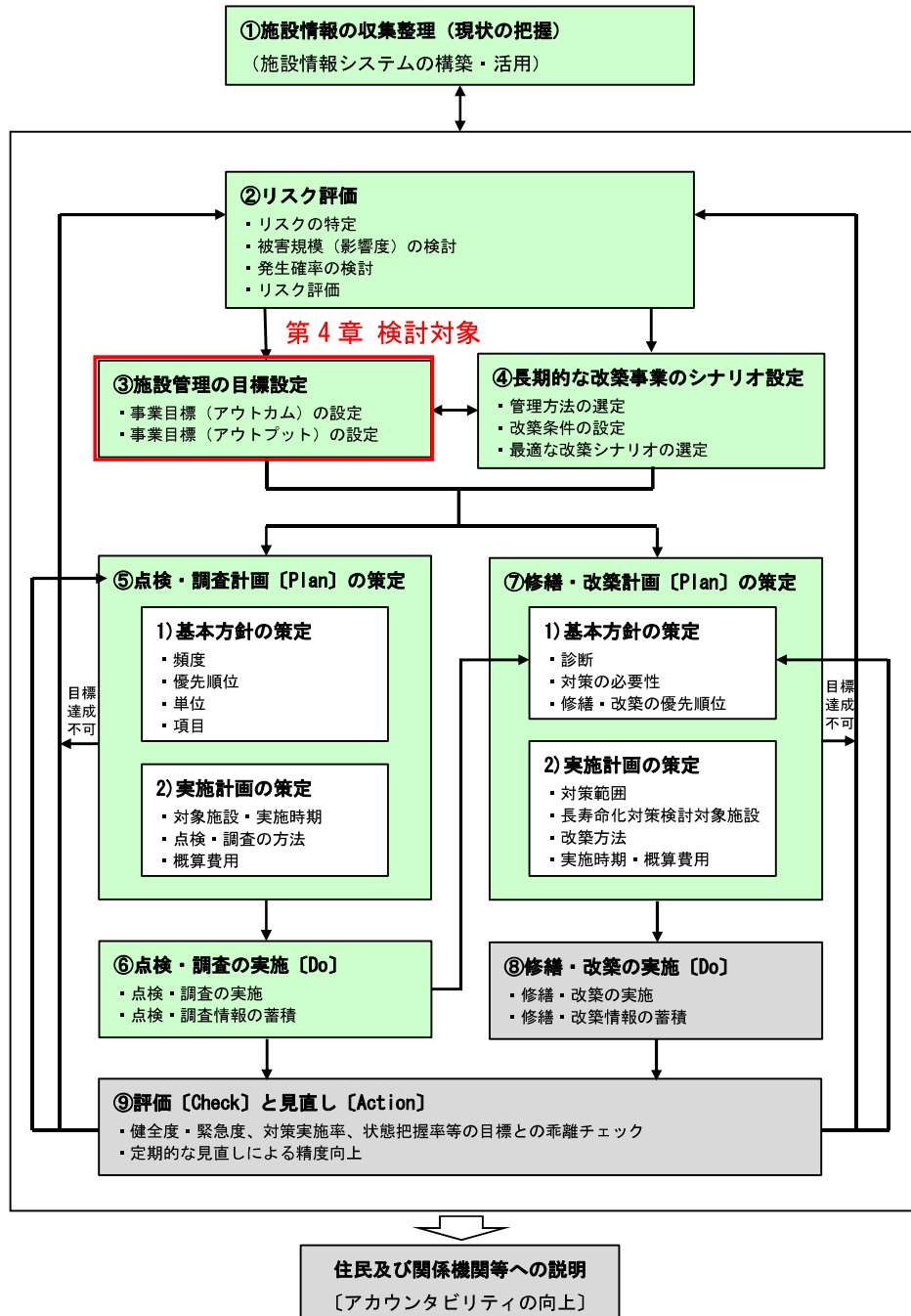


図 4.1 スtockマネジメントの実施フロー

アウトカムとは、下水道施設の点検・調査及び修繕・改築に関する事業の実施によって得られる効果を定量化した目標を指す。

また、アウトプットとは、アウトカムを達成するための具体的な事業量の目標を指す。

表 4.1 点検・調査及び修繕・改築に関する目標（アウトカム及びアウトプット）の設定例

点検・調査及び修繕・改築に関する目標 (最終アウトカム)				施設種類別事業量の目標 (アウトプット)			
項目	目標値	達成期間		項目	目標値	達成期間	
安全の確保	本管に起因する道路陥没の削減	道路陥没 0 件/km/年	20年	管路施設	管路の改築	管路調査延長 100km/年 改築延長 30km/年	10年
	マンホールふたに起因する事故削減	年間事故割合 0 件/処理区/年	20年		マンホールふたの改築	点検数量 5,000 基/年 改築数量 2,000 基/年	10年
サービスの確保	安定的な下水道サービスの提供	不明水量の減少	20年	管路施設	管路調査延長 100km/年 改築延長 30km/年 立牛・取付け管改築 100 箇所/年	10年	
		主要な施設の健全度を 2 以上		設備	主要設備の改築		改築設備数 3 件/年
ライフサイクルコストの削減	目標耐用年数の延長	管路 65 年→75 年	20年	管路施設	定期的な点検・調査による劣化の早期発見・早期対応による延命化	点検・調査の延長の見直し 80km/年→100km/年 不具合予防処置(重複になる前の早期対応)の拡充 50km/年→70km/年	10年
		設備監視保全を行っている設備の目標耐用年数を現在の約 1.2 倍とする。		設備	点検・調査の重視及び劣化の早期発見による延命化	定期的な状態監視保全設備の調査を行うことにより、部品単位の交換を行う。 5 件/年→10 件/年	

段階的進捗状況把握のための目標設定例(管路施設(安全の確保))

目標種別	項目	短期目標 (5年)	中期目標 (10年)	最終目標 (20年)
点検・調査及び修繕・改築に関する目標 (アウトカム)	道路陥没	0.02件/km/年以下	0.01件/km/年以下	0件/km/年
施設種類別事業量の目標 (アウトプット)	調査延長	5年間で250km 1年 2年 3年 4年 5年 50km 40km 60km 70km 30km	5年間で400km 1年 2年 3年 4年 5年 80km 70km 80km 90km 100km	10年間で1,000km 1年 2年 3年 4年 5年 6年 7年 8年 9年 10年 50km/年 80km/年 100km/年
	改築延長	5年間で75km 1年 2年 3年 4年 5年 15km 12km 18km 21km 9km	5年間で120km 1年 2年 3年 4年 5年 24km/年 24km/年	10年間で300km 1年 2年 3年 4年 5年 6年 7年 8年 9年 10年 30km/年 30km/年

評価と見直し

出典：平成 27 年 11 月 下水道事業のストックマネジメント実施に関するガイドライン-2015 年版-

(1) 本市におけるアウトカム、アウトプット

本市におけるアウトカム、アウトプットを下記のとおり設定する。

表 4.2 本市におけるアウトカム、アウトプット

上位計画	本計画で考慮する事項	アウトカム			アウトプット		
		項目	目標値	達成期間	項目	目標値	達成期間
第5次藤井寺市総合計画	公共下水道の整備及び水洗化の普及促進	-	-	-	-	-	-
		サービスペレベルの確保	既存施設の長寿命化の推進	20年	主要設備の改築	改築投資額3億円/年	20年
	下水道整備済人口普及率(人口普及率)77.2→81%	-	-	-	-	-	-
	供用開始区域水洗化人口普及率(水洗化率)89.9→90%	-	-	-	-	-	-
藤井寺市公共施設等総合管理計画	適正で効率的な公共下水道事業の運営	-	-	-	-	-	-
	雨水ポンプ場は、施設の現状を調査し、適切な維持管理に努めるとともに、長寿命化を含めた改修・更新を計画的に進める。	ライフサイクルコストの低減	設備の長寿命化対策の実施	10年	主要設備の調査	調査点数2~3点/年	10年
両ポンプ場ともに整備途上であり、管路整備に合わせて、施設・設備の増強等必要な性能を確保する。	-	-	-	-	-	-	-